

◇進路通信◇



第 3 号 2021年5月18日

■定期考査は難関大学合格への試金石

何事にも、段取り、順番が大切です。例えば料理。食材の準備、調理手順を無視していきなり調理をする人はいないでしょう。大学を目指す人にとっても同じことがいえます。日々の小テスト、定期考査、実力テスト、模擬試験と、それぞれに役割があります。その役割と手順を無視しては、学力は伸びません。



実例を出します。早慶など難関大学に合格した人たちは、英語の定期考査で7割を切るようなことがありません。マラソンを走り切ったことが一度もない人が、いきなりマラソンに挑戦して、上位に入賞することがないのと同じで、日ごろ一定の成績をあげられない人は、本番でもよい成績を出せません。「ワンチャン」などないのです。

来週の定期考査で、基礎学力が身についているかが確認できます。教科書を読んでわからないこと、問題を解いていてわからないことを、そのままにしていますか。まずは、自分の頭で考え、参考書で調べたり、友だちや先生にきいてみましょう。自主的自律的な姿勢なくして、ものごとを理解することはできません。時々「わからないから勉強できない」「どうやって勉強したらいいかわからないから勉強しない」と言う人がいます。今はインターネットを利用して、様々な情報を入手することもできます。必死になって、自ら調べてみましょう。部活で「どう練習したらいいかわからない」「練習してもうまくならないから練習しない」という人はいないと思います。勉強も同じです。



学力を上げたいと思っている人は、日ごろから疑問を疑問のままにしておかない、ということが非常に大切です。大学入試を甘くみてはいけません。全国 45 万人もの受験生の約半数が、人気私大早慶上智、MARCH などおよそ 30 大学を志望校にしています。2021 年入学者およそ7千人の明治大学学力試験の志願者数は 9 万 9009 人、同およそ1万1千人の早稲田大学の志願者は 9 万 1659 人でした。

自分に甘い人が、他者との勝負に勝つことは難しいのです。気持ちを定期試験に集中し、ひたすら勉強してみましょう。試験後に、やり切ったという気持ちを持たたかどうか、ひとつのバロメーターになります。

まもなく大学説明会 6月からオープンキャンパスなど始まる

2022 年入試をまだ先のように感じていて、志望校の研究を始めていない人も少なくないと思います。ところが、早い大学は5月23日(日)に大学説明会を開催します。学校からも情報提供をしますが、気になっている大学等がある人は、早めにホームページをチェックしてください。進学するのは他でもない「あなた」なのでから。



学力アップは「3点固定」 【その2】 1学期中に規則正しい生活の確立を!

連休中の生活は規則正しく過ごせたでしょうか。来週は定期考査です。表面でも述べましたが、日々の学習が確実に身についているかを確認する大切な節目です。再度、規則正しい生活を送るために大切なポイント「時刻の3点固定」を確認しましょう。

- ①起床時間
- ②家庭学習開始時間
- ③就寝時間

ここで一つアドバイス。気合を入れて起床時間を早くしようと思う人がいるかもしれませんが、あまり早くしすぎると、午後の授業が眠くなってしまう場合があります。3点はすべて連動していることに注意しましょう。大事なことは、3点の時刻を「固定」すること。日によって変えないことです。

学習4原則 【その2】 「自発的」「計画的」「継続的」「即時実行」の履行

「先生、中間考査は何を勉強したらいいですか?」「どこが試験に出ますか?」。こうした質問を今先生方にしていませんか。前回も述べましたが、こうした質問に通底していることは「自分の頭で考えていない」ということです。希望大学に進学するためには「何が必要か」「いつまでに何をしておかなくてはいけないのか」「わからないことは何か」「現在の学力の状況は、全国でどのぐらいか」といったことを自己分析し、解決方法を自分で考え、計画を立て、毎日継続し、わからなければすぐ質問する、といった姿勢で学習に取り組むことが必要なのです。